

すべての社員が笑顔になるような 環境の整備を第一に

2024年、次世代を担う社員を中心に、長期ビジョンを策定しました。
長期ビジョンのキャッチフレーズである

Smile RiNnovation 、**“笑顔”**、**“リノベーション”**・**“イノベーション”**
を将来の希望として、これらの実現に向け、当社は新たな一歩を踏み出しました。
今回の中期経営計画はこの**長期ビジョン達成のための基盤づくり**と位置づけ、
バックキャスト方式で策定しました。新たに入社される未来の社員を含む、
すべての社員が将来も笑顔になるような環境の整備を第一に、との思いを込め
策定しています。

これからも長期的な視点をもってフレキシブルな対応で持続可能な社会の実現
に寄与してまいります。

今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2025年4月
りんかい日産建設株式会社
代表取締役社長

永尾秀司

中期経営計画 2025-2027

2025.04.01

 りんかい日産建設株式会社

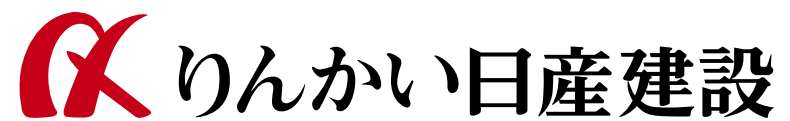
建設は、ひとづくり。

Smile RiNnovation

次の100年へ、笑顔のりんかい日産建設



1.策定主旨	P.04
2.レビュー	P.05～07
3.事業環境分析	P.08
4.基本方針	P.10
5.KPI	P.11
6.部門別施策	P.12～15
7.投資計画	P.16
8.サステナビリティの取り組み	P.17～18



建設は、ひとづくり。

Smile RiNnovation

次の100年へ、笑顔のりんかい日産建設

1. 策定主旨

2. レビュー

3. 事業環境分析



本中期経営計画は**長期ビジョン達成のための「成長の基盤づくり」と位置づけ**、
3つの重点事項(**well-being, solution, branding**)を体現してまいります。

また、2026年に当社は100周年を迎えます。

次の100年(Ready for Next100)への第1歩が、今回の中期経営計画となります。

中期経営計画2022-2024 基本方針

- 業容拡大と安定した利益
- 組織改革、人材育成、生産性向上

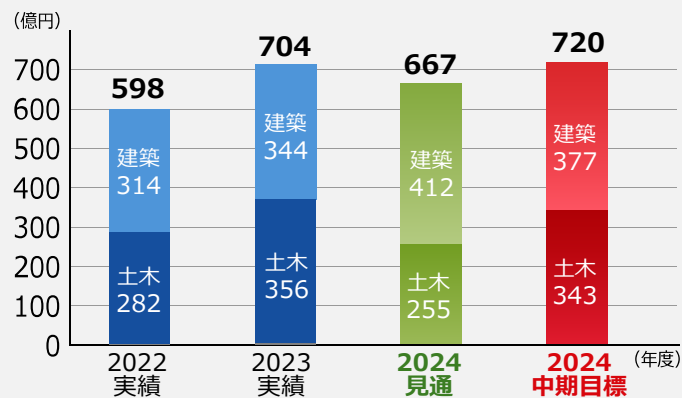
- ESG経営・脱炭素・SDGs
- ステークホルダーとの相互理解

経営目標 (2024年度)

業績目標：売上高**720**億円 営業利益**25**億円
自己資本：**180**億円

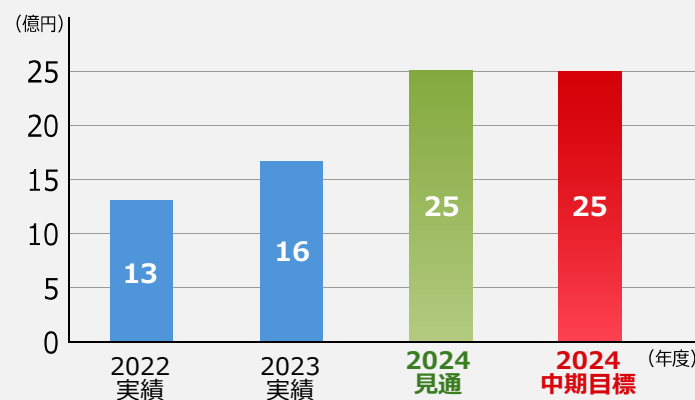
売上高

大型受注工事の期中売上寄与が足りず目標未達見通しである。



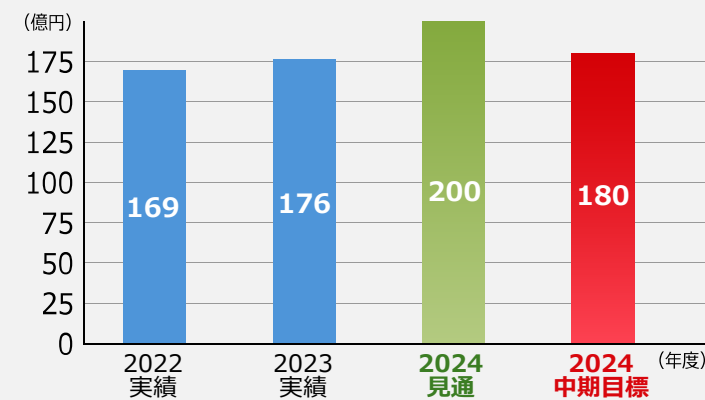
営業利益

増加基調を維持し、相応の粗利益を確保したことにより、目標達成見通しである。



自己資本

前中期経営計画2022-2024期間中の利益の積み上げにより目標達成見通しである。



土木部門

➤ 受注拡大

- ☒ ノウハウを収集し、技術力の強化、受注拡大実現
- ☒ 大型工事を獲得
- ☐ 民間案件への体制構築は引き続き課題

➤ 収益確保

- ☒ DX部門設立、活用により生産性向上
- ☐ 協力業者との関係強化について引き続き課題

➤ 企業力向上

- ☒ 社内教育プログラムを策定、実施
- ☒ CPDS取得支援を実施
- ☒ 水中測距システムを開発、実用化

建築部門

➤ 収益力強化

- ☒ 全社連携により購買機能を強化
- ☐ 資材関連の集中購買には至らず方針を再考・是正
- ☐ 人的資本の増強は継続的な課題

➤ 営業力・積算力強化

- ☒ 選択と集中を行い成果を挙げた
- ☒ 設計施工案件割合の増加

➤ 技術力強化

- ☒ キャリア採用含め、技術部の人員増強を実現

➤ 各層への教育強化

- ☒ 【若手層】建築部OFF-JTを実施
- ☐ 【中間層】更なる座学支援について引き続き課題
- ☒ 【管理職層】マネジメントプログラムを実施

☒ 概ね達成 ☐ 引き続き課題

管理部門

➤ 総務・経理・情報システム

- ☒ 本社ビル移転を実施
- ☒ 創立100周年に向けた準備を開始
- ☐ 法務機能の強化に人員を増強、さらに強化を継続
- ☒ 業務のペーパーレス化、クラウド化を着実に推進

➤ 人事・働き方改革

- ☒ 新勤怠システムを導入、残業時間抑制を推進
- ☒ リファラル採用を導入
- ☒ 階層別教育研修を拡充
- ☒ 新人事制度を導入
- ☒ 定年延長を実施

環境・再生エネルギー部門

➤ 特定パートナーによる継続的受注

- ☒ 特定パートナーより期間中**100億円超**の受注達成

➤ 新規分野の開拓

- ☒ 木質バイオマス関連の実績を獲得
今後、他エネルギーにも対応

CSR部門

➤ ESG経営の実施

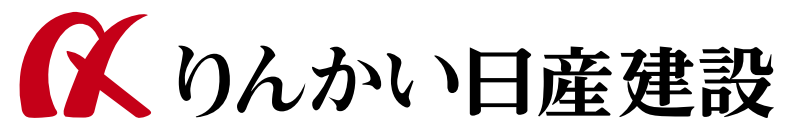
- ☒ サステナビリティ委員会を設立、継続開催

➤ 社会要請への対応

- ☒ 外部評価対応、方針策定、Well-being調査を実施

3.事業環境分析-PEST分類マトリックス

PEST分類	全般的な事項	建設業における事項	リスク・機会	当社の対応
P Political and Legal 政治的・法律的要因	法・制度の改正 地政学リスクの高まり	品確法の改正 建設業法、入契法の改正 (担 い手3法) 時間外労働上限規 制の開始 高齢者雇用安定法改正	労働時間の短縮による生産力の減少リスク 定年延長による生産力の維持・増加機会	働き方改革対策の実施 時短を推進 人事関連制度の刷新(定年延長)
E Economical 経済的要因	景況の変化 物価・労働力対価の上昇	スライド条項等の設定お よび運用強化の必要	景気変動に伴う建設業市況下落リスク 原価の増大に伴う収益悪化リスク	選択と集中
E Environmental 環境的要因	気候変動等の規制強化 エネルギー政策	サステナビリティ情報の 開示強化	開示対応強化によるコスト増加リスク 対外・社内的に認知してもらう機会	サステナビリティ委員会を設立
S Social 社会的要因	国内人口減少・少子高齢化 ダイバーシティ(DE&I) 建設物の老朽化対策	建設技能労働者の不足 国土強靱化計画	労働人口の減少による生産力の減少リスク ダイバーシティな人材登用の増加機会	ダイバーシティ人材の登用 人事関連制度の刷新
T Technical 技術的要因	DX推進 生成AIの進化	i-Constructionによる生産 性向上	導入に伴うコスト増加リスク 生産性向上の機会	土木本部DX推進部を設立 建築本部生産計画設計部を設立



建設は、ひとづくり。

Smile RiNnovation

次の100年へ、笑顔のりんかい日産建設

4. 基本方針

5. KPI

6. 部門別施策

7. 投資計画

8. サステナビリティの取り組み

中期経営計画2025-2027 基本方針

長期ビジョン → Smile RiNnovation

実現に向けた成長の基盤づくり



すべての社員が
笑顔になる環境の整備

- 1 業容拡大と安定収益の確保
- 2 ESG経営を推進
- 3 技術の開発、強化

KPI(重要業績評価指標)

2027年度

財務データ

売上高 800 億円
営業利益 30 億円
自己資本 230 億円
ROE 8 %

サステナビリティデータ

役職員数 750名
女性総合職 倍増(2024年度比)

成長の基盤づくり

長期
ビジョンへ

2033年度

財務データ

売上高 1000 億円
営業利益 70 億円
自己資本 280 億円
ROE 10 %

長期ビジョン

Smile RiNnovation
の実現

次の100年へ

土木部門

創造性や生産性を向上し、事業規模の拡大を目指す。

☑ 受注拡大 ☑ 収益向上

☑ 企業力向上

環境・再生エネルギー部門

民間プロジェクトを中心に事業開拓を実行する。

☑ 特定パートナーからの継続的受注

☑ 新たなエネルギー政策に即した分野の開拓



安全・環境・品質

安全衛生、環境、品質の確保と、効果的なマネジメントシステムを確立し、社会的責任を果たす。

☑ 労働災害の撲滅

☑ 環境事故「ゼロ」

☑ 要求品質の確保



建築部門

多様な人材確保と育成。営業力、技術力により事業拡大に邁進する。

☑ 人材の確保と実践力強化

☑ 営業力強化 ☑ 収益力強化

☑ 総合品質向上

管理部門

ひと、改革、ブランディングに取り組み、成長の基盤をつくる。

☑ ひと ☑ 改革 ☑ 100周年

☑ ブランディング ☑ サステナビリティ

☑ 長期ビジョン達成の基盤づくり



土木部門

～長期ビジョンを見据えた基盤づくり～

➤ 受注拡大

- 工事・職員実績の積み上げ
- 効率的な大型工事の受注
- 民間案件受注に向けた設計、技術力の強化

➤ 収益向上

- 社員1人当たりの生産性継続向上
- DX推進部の強化による現場支援の拡大
- 新規協力業者との協調
- 設計変更獲得への支援

➤ 企業力向上

- 社員のスキルアップ
- 良好な工事成績評点獲得
- 若手社員の早期育成
- 独自技術の開発と新規事業分野の開拓
- 新造船の建造



建築部門

～営業力・技術力により顧客信頼を獲得～

➤ 人材の確保と実践力強化

- 多様な人材採用の柔軟性追求
- 階層別教育の充実



➤ 営業力強化

- 分野別戦略の策定と展開
- 新規顧客獲得と重要顧客関係強化

➤ 収益力強化

- 増収増益の継続
- 安定的な収益の確保

➤ 総合品質向上

- 顧客満足度向上
- 施工不良の撲滅（アフタークレームゼロ）



環境・再生エネルギー部門

～民間プロジェクトを中心に事業開拓～

- 特定パートナーからの継続的受注
- 新たなエネルギー政策に即した分野の開拓

エンジニアリング会社および設備メーカーとの連携強化による継続的受注を基軸とし、新たなエネルギー政策に即した施設の受注を目指す。



管理部門

～成長の基盤づくり～

- ひと
 - 次世代を担う人材の輩出
 - 教える、学ぶ機会の継続、創出
 - **Well-beingの推進**
 - コンプライアンス経営の徹底
- 改革
 - ペーパーの全廃
 - 新システムの連動強化による**働き方改革の実現**
- 100周年
- ブランディング
 - 多くの人に社名を知ってもらう
 - 発信力の強化
- **長期ビジョン達成の基盤づくり**
 - 当社グループのあるべき姿の検討



安全・環境・品質

➤ 労働災害の撲滅

- 安全衛生教育の強化と人材育成
- 労働安全衛生マネジメントシステムの全社運用

➤ 環境事故「ゼロ」

- 環境法令、規制要求事項の遵守
- 環境負荷削減への取り組み
- システム運用、改善、情報公開の実施

➤ 要求品質の確保

- 重大な施工不具合発生の防止
- 顧客満足度の高い製品、工事の提供



安全・環境・品質の徹底

「安全はすべてに優先する」

のスローガンを掲げ、安全・環境・品質の確保に全部門が一丸となって取り組む。

すべての社員が
笑顔になる
環境の整備

Smile RiNnovation

成長の基盤づくり



技術の開発、強化

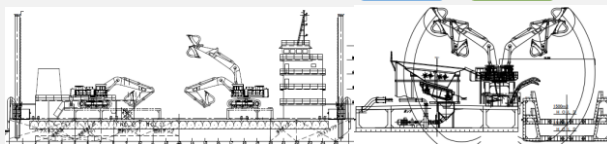


ESG経営の推進

新造船

～2027年度着工

今後期待される港湾整備に
対応すべく、浚渫工事関連
の新造船を建造。
新造船には新技術等を導入。



新造船一般配置図例

iCenter NARAWA

2026年度運用開始

社員の成長、能力向上の
場として教育研修セン
ターを設立。



研修施設場所イメージ

D X

2025～2027年度継続

生産性向上を確実なもの
とするために、継続的な
投資を実施。



MRシステム導入



3次元計測の高度化



情報統合ソフト活用

基本方針

経営理念

「人・社会・環境との共生」
を通じて、
企業価値の向上を目指す。



情報の積極的開示

社会課題への柔軟な対応

企業価値の持続的な向上

SDGsの取り組み



RN THE FUTURE PROJECT

日本が目指す2050年GHG実質排出ゼロの実現に向けて取り組み、バックキャストの視点で部門横断プロジェクト「**RN THE FUTURE PROJECT**」を推進。



RN THE FUTURE PROJECT
ともしつなぐ 人と社会と環境

→30・50←



脱炭素の取り組み

2027年	2024年度比11%減	
	SCOPE1(燃料使用量)	省エネ活動、燃料使用量の減少
	SCOPE2(電気使用量)	再エネ100%電力の利用
	SCOPE3(バリューチェーン)	グリーン鋼材などの利用
2030年	2024年度比22%減	
	SCOPE3(バリューチェーン)	排出量の9割を占めるSCOPE3の脱炭素化を図る
2050年	カーボンニュートラル（CO2排出量ネットゼロ）	
	SCOPE3削減の他、SCOPE1代替燃料、SCOPE2再エネ由来電力の活用 プラス分については脱炭素に資するクレジットの利用も検討	

外部・内部評価に対する取り組み

外部評価

CDP : C評価継続
EcoVadis : 評価獲得継続



社会要請への対応

TCFDへの対応 : 開示の継続
TNFDへの対応 : TNFDに沿った開示

Well-being評価

2024年度役職員Well-being評価4.80(満点10.0)の継続向上

建設は、ひとづくり。

Smile RiNnovation

次の100年へ、笑顔のりんかい日産建設

 りんかい日産建設株式会社

【将来事象に関する注意事項】

本資料に記載されている経営目標、戦略、取り組みに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、経営環境の変化等によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。